



「志」と「絆」



冬休み明けの1月7日（木）、全校朝会において「志を高く持とう」「絆を深めよう」と話をし、引き続き、

1月19日（火）全校朝会においては、「立志」について次のような話をしました。

先日、成人式が各地で行われましたが、20歳を迎える前に、14歳になると「立志式」が行われる地域があります。何故14歳が対象になるかということ、1850年頃活躍した橋本左内という人物に関係が深いそうです。橋本左内という方は当時の福井藩に生まれ、14歳の時「啓発録」という本に「14歳ともなれば幼い心を捨て去り、大きな志を持つことが大切である」という内容で次のようなことを書かれました。

- 稚心を去れ（甘え心やわがままから抜け出せ）
- やる気を起こせ（怠け心を吹き飛ばせ）
- 勉学に努めよ（学問だけでなく、正しい生き方を学べ）
- よき友を選べ（互いに励まし合い、いさめ合う友を選べ）

現代の法律上においても14歳は13歳とは異なり、「少年法」という法律においても責任が持たされる年齢です。自分の行動に責任を持ちましょう。



「嘘をつくな、卑怯なことをするな、弱い者をいじめな」

1月26日（火）全校朝会においては、「絆」について次のように話をしました。

先日、広島市において都道府県対抗男子駅伝が行われ、チームの「絆」の大切さを感じました。駅伝といえば、広島県の世羅高校が全国大会で5度目の優勝に輝きましたが、その世羅高校の岩本先生からお話を聞く機会がありました。岩本先生は、「陸上部の生徒である前に、きちんとした世羅高校の生徒であれ！」と教え、「陸上だけ頑張ればよいのではなく、授業はもちろん学校生活を真面目に取り組みなさい。」と指導されています。

強豪校と呼ばれる高等学校の部活動の様子を見ると、そこには「規律」があり、そのおかげで部員の「絆」が深まっています。かつて福島県会津若松にあった日新館という学校では「仕の掟」があり、「嘘をつくな、卑怯なことをするな、弱い者をいじめな」と教えられていました。

先輩が威張っているような部活動は強くなりません。後輩を可愛がり、尊敬される先輩となり、みんなの絆を深めましょう。

租税教室を実施しました。

1月27日（水）・28日（木）、講師として海田税務署の岩澤係長をお招きし、第3学年を対象に租税教室（税金についての学習）を実施しました。

ビデオや資料を活用した説明を聞き、社会科の授業で学習した内容がさらに深まりました。





やの交流プラザ周年記念で演奏しました。

1月17日（日）、やの交流プラザ（矢野駅）一周年記念イベントが行われ、

本校ギターマンドリン部が演奏を披露し、大きな拍手をいただきました。